
メールセキュリティの統合プラットフォーム 「Sendmail Mailstream Manager」を発表

メールポリシーの設定・実施、ウィルス/スパム対策を一元管理

センドメール株式会社(本社:東京都中央区、社長:小島國照)は、メールセキュリティの統合プラットフォーム「Sendmail Mailstream Manager」(以下 Mailstream Manager)を発表いたしました。

Mailstream Manager は、増大するメールセキュリティに関する脅威から企業を守るために、ウィルス対策やスパム対策、情報漏洩防止やコンプライアンスのためのメールポリシー設定・実施機能を統合し、一元的に運用・管理可能な統合環境を提供するミドルウェアソリューションです。

価格はオープンプライスで、センドメールの販売代理店各社を通じて、本日より販売開始し、出荷開始は6月上旬を予定しています。

ウィルス/スパム/フィッシング対策や、社員のメール誤使用による個人情報漏洩の対策、メールアーカイブ義務化など法規制の遵守など、メールシステムへの要求が多様化しています。

企業は、これらの課題に対するソリューションを個別に導入していましたが、その結果、メールシステムが複雑化して運用・管理の負荷が高まり、全社に一貫したメールポリシーを徹底させることが困難になっています。そこで、既存のメールインフラを活かしながら、個々のソリューションを統合して一元的に運用・管理可能な環境が求められています。

Mailstream Manager は、ウィルス/スパム対策、送信ドメイン認証などを統合し、直感的な Web ベースの GUI で、メールシステム全体にわたり、ポリシーを一元管理可能な統合環境を提供します。

Microsoft Exchange や Lotus Notes など既存のメールシステムやグループウェアに容易にアドオンでき、ウィルス/スパム対策では、オプションとして提供されるサードパーティのアンチウィルスフィルタ、またはアンチスパムフィルタも統合し、一元管理可能です。

メールポリシー設定では、企業ごとのメールポリシーに基づき、さまざまなメールの条件に応じてアクションを詳細に設定でき、ビジネス環境の変化に合わせて設定の追加・変更も簡単に迅速に行えます。

メール条件は、送信先/送信先種別(社内/社外)、BCC の有無、メール本文や添付ファイルに含まれるキーワードなど幅広く対応しており、たとえば、個人情報や機密情報が誤って外部に送信されたり、BCC で競合会社に送付されるなどの情報漏洩を防止します。また、メールの内容により、自動的に受信者を追加したり、監査対象となるメールのコピーを自動的に保存するなどが可能です。

Mailstream Manager は拡張性が高く、さらに高度なメール処理プロセスをプログラミングによりカスタム開発したり、レガシーシステムのデータソースを利用することも可能です。

また、将来の新しい脅威やテクノロジーにも対応可能な、拡張性と柔軟性の高いプラットフォームです。

■ Sendmail Mailstream Manager の概要

Mailstream Manager は、さまざまなメールの条件(ヘッダ、本文、添付ファイルタイプ、添付ファイル内テキストなど)により、詳細な処理方法(拒否/一時拒否、削除、隔離、宛先変更/追加、コピーなど)を設定し、該当するメールに自動的に適用します。

スパム判定エンジンによるスパム情報や、LDAP によるディレクトリサービスの利用も可能です。

[条件とアクション設定の例]

- ・機密/個人情報を含むメールを、削除または宛先変更
- ・社内メール規則に従って、たとえば、社員同士の MP3 データ送受信を拒否
- ・クレジットカード情報を含むメールは配信拒否
- ・LDAP 連携により、ディレクトリ情報を基に的確にメール配信
- ・監査対象者のメールのコピーを自動的に保存
- ・特定のメールに、法規上または社内規則上の免責条項を自動的に付加

■ Sendmail Mailstream Manager の特長

【1】メール処理を一元管理可能な統合ソリューション

メールゲートウェイからメールボックスまで、すべてのメールを対象として、ウイルス/スパム対策、メールポリシー適用を、一元的に設定・管理可能。詳細な条件で、豊富なアクションを設定可能。

【2】豊富なファイルフォーマットをサポート

業務で利用される可能性のあるほとんどすべての添付ファイルのフォーマットをサポート。Word ファイル内に貼り付けられた Excel ファイル、圧縮ファイルなども検索可能。

【3】Webベースの直感的操作

Web ベースの直感的なユーザインタフェースにより、あらゆる機能を利用できます。スパムやウイルスの被害にどう対処するか、さまざまな条件による複雑なロジック設定を容易に行うことができる。

【4】処理状況がリアルタイムで把握できるシステムダッシュボード

メールの処理量、スパムやウイルスの検出率、ポリシー別統計など、リアルタイムにダッシュボードにグラフィカルに表示。また、表示グラフの基データを詳細に見ることも可能。

【5】既存システムと連携

他の Sendmail ソリューション製品、オープンソースの sendmail はもちろん、Microsoft Exchange や Lotus Notes など既存のメールシステムやグループウェアに容易にアドオン可能。

LDAP によるディレクトリサービスとの連携も可能。

Mailstream Manager のオプションとして提供される Sendmail のウイルス/スパム対策ソリューションだけでなく、他ベンダーのフィルタリング製品も一元管理可能。

【6】拡張可能な開発フレームワーク

XML 対応のエンジンを搭載し、ニーズに合わせたカスタマイズや、レガシーシステムのデータソースの利用も可能。(センドメールおよび当社パートナーがプロフェッショナルサービスを提供します)
また、将来の新しい脅威やテクノロジーにも対応可能。

■販売価格・発売/出荷時期

販売価格 : オープンプライス

※販売価格は、サポート内容など販売形態により異なりますので、詳細は以下の
販売パートナー各社にお問い合わせください。

<http://www.sendmail.com/jp/partner/>

発売 : 2005 年 5 月 17 日

出荷開始 : 2005 年 6 月 10 日(予定)

■稼働環境

対応 OS : Windows、Red Hat Linux、SuSE Linux(United Linux)、MIRACLE LINUX、Solaris

対応機種 : Intel Pentium II 以上搭載機種を推奨

Web ブラウザ: Microsoft Internet Explorer 5.5 以上

Netscape Navigator 4.7 以上、Netscape 6.2 以上

■Sendmail 社について

<http://www.sendmail.com/> <http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail 社(Sendmail, Inc. 本社 : カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA : Mail Transfer Agent)である「sendmail」の開発者であり、“Eメールの生みの親”と言われているエリック・オールマン(現 CTO)により、ビジネスユーザのニーズに対応するために 1998 年に設立されました。現在は、スパム/ウィルス対策、トラフィック制御、コンプライアンス遵守のためのメールアーカイブなどの各種ソリューションを含め、ゲートウェイからメールボックスまで、信頼性の高いメッセージング基盤構築のための製品・技術サポートをトータルに提供しています。Fortune10 の内 7 社、Fortune100 の 50%が Sendmail 社の商用製品を採用し、日本国内でも、官庁、自治体、企業、大規模 ISP で 3 万ライセンス以上の出荷実績があります。英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003 年 1 月に設立されました。

報道関係者お問い合わせ

センドメール株式会社 担当: 中村
TEL: 03-5537-0367 FAX: 03-5537-0376
marketing-japan@sendmail.com

Sendmail は、Sendmail, Inc.の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。